

牛久市社会教育委員会議事概要		日時	平成30年7月4日(水曜日)
件名	平成30年度社会教育委員会議	場所 時間	牛久市中央生涯学習センター 大講座室 13:30~15:40
作成年月日	平成30年7月10日(火曜日)	作成者	生涯学習課：関 稔
出席者	(出席委員) 須藤京子、田井鉄男、泊由香、上田晃生、種子田孝子、松田元、唯根勉、宮下英彌、竹上謙一、佐々江健治、 (牛久市) 教育長 染谷郁夫、教育部長 川井聡、次長 飯野喜行、次長 杉本和也、生涯学習課長 中野祐則、文化芸術課長 手賀幸雄、スポーツ推進課長 齋藤勇、国体推進課長 横田武史、中央図書館長 関達彦、放課後対策課長 吉田茂男 (事務局) 生涯学習課長補佐 山越義弘、副参事 関稔、主事 福島香織、主任非常勤職員 佐藤純子、社会教育指導員 和知正剛 (傍聴者) なし		(順不同・敬称略)
議事内容	1) 平成30年度社会教育事業概要について ・生涯学習課 ・文化芸術課 ・スポーツ推進課 ・国体推進課 ・中央図書館 ・放課後対策課 2) ひたちなか市研修報告 3) 今後の社会教育委員活動について 1. 社会教育と活動テーマ		
会 議 内 容 等			
1. 開会 2. 教育長挨拶 3. 委嘱状および任命書交付 4. 職員紹介 5. 議事 1) 平成30年度社会教育事業概要について ・生涯学習課 ・文化芸術課 ・スポーツ推進課 ・国体推進課 ・中央図書館 ・放課後対策課 上記内容について、各課長、館長から、資料に基づき事業内容の説明を行なった。 【質疑等】 (委員) 生涯学習課の今年度の抱負についてお聞きしたい。 (生涯学習課長) 市民の皆さんが快適に自分の意思を持っていろんな事が出来るように、施設管理や講座の在り方などを中心に進めていきたいと思っています。 (委員) 図書館の利用者登録団体についてお聞きしたい。 (図書館館長) 地域の読み聞かせ団体、幼稚園保育園などのお子さんに読み聞かせを行っている団体です。 (委員) 地域ふれあい講座の補助で今年度の変更点についてお聞きしたい。 (事務局) 今年度から1団体に対して年3回まで講師謝礼の補助となっております。 (委員) コミュニティスクール運用の参考資料について説明をお願いします。 (放課後対策課長) コミュニティスクールと地域学校共同活動は、車の両輪のような形で子どもたちの豊かな学びを作っていこうということになります。地域学校共同活動は社会教育で、コミュニティスクールは学校教育のカテゴリーになります。			

## 2) ひたちなか市研修報告

事務局から研修内容を報告

### 【意見等】

- (委員) 非常に活発に活動しているなというのが第一印象。子どもの育成が重要であるという観点から子どもの問題を中心に組み込んでこられたところは、我々が活動する場合において示唆を与えて頂いたと考えている。
- (委員) 小委員会で案を練って、それを全体に反映するという具体的な取り組み。年 2 回の親睦会も意思疎通をはかり、楽しく委員会活動を行っていると感じた。ただ、高齢化の中で何をやっていこうとしているのかが良く見えなかった。将来を見ての取り組みも必要かなと思った。テーマ設定についてもアンケートを取っているということだがアンケートは難しいし、もう少し詳しく勉強したかった。
- (委員) 地域も違うし、社会教育委員も牛久とは違う。活発に活動しているが、それをすぐさま牛久に取り入れるのは難しいのではと思いつつ聞きました。
- (教育長) ひたちなか市の社会教育委員は、放課後児童クラブ、ネット社会、子ども会、高校生会、放課後子ども教室と、本当にいいテーマでやっているんだなあと思いました。特に高校生会は目を引きました。小中学生と大人の間の高校生が牛久では存在が薄いと思っています。テーマを絞って皆さんで話せばいいなと思います。テーマもこちらから具体的に提案していったほうが活性化するのではと思います。
- (委員) できるだけ縦割りにならないような幅広い取り組みが必要だと感じます。
- (委員) ひたちなか市は非常によくやっていますが、ひたちなか市がやっているのは学校教育のところですか。本来の社会教育委員は、学校教育家庭教育以外のところでの提言とかを求められているので、社会教育委員としてのテーマはここじゃない。学校教育にシフトしている。問題点はそこだと思います。牛久は牛久独自で社会教育委員としてのテーマを考えるということが必要です。

## 3) 今後の社会教育委員活動について

### 1. 社会教育と活動テーマ

- (委員) 先日の歴史リレー講座は満員でした。魅力のあるものだと参加者も多いということだと思います。青少年育成牛久市民会議では親子ふれあい教室をやっています。非常に応募も多く、特にお父さんの参加が多い。親子参加型、そして食べ物をからめると良いのかなと思います。女化にピザの窯がありますがあまり使われていません。そういうものを活用するのも良いと思います。
- (委員) 正直なところ生涯学習まで頭が回らない。スケジュールが手一杯です。皆さんが 30 代 40 代で子どもがいて、てんやわんやのときに生涯学習とはどういう位置づけだったかお聞きしたい。
- (議長) 現に、生涯学習講座では受講者数が減っているという課題がある。何らかの形でヒントが与えられるような取り組みを 3 月までに組み込んでいきたいと思っています。
- (委員) スポーツ推進委員、体育協会、スポーツ少年団として意見交換している。こういう事例だったら他の課の方はどのような対策をされているのか参考までに聞いてみたいと思う。齋藤課長をはじめチームの方々と日頃意見交換や活動をしている中で問題はあります。解決する結論がでないまま一年半過ぎてしまい、また同じような話が出る場合がある。この悩んでいるポイントで意見交換できる部分があるのかと思う。スポーツを 3 地区で活動していく中で牛久市の方針は何だったか。どのような人まで意見を聞く必要があるのか。今、現状起こっているいろんな活動の中で親睦を図りながら意見交換をするのが早いとも思いました。
- (事務局) 生涯学習講座では、毎年講座に参加した方にアンケート調査をしています。参加した方のアンケートのためその講座がよかったか悪かったかで、何か他にやりたいものがありますかと聞いてもなかなか明確な解

答が出てこない。そこ辺りが進まない状況です。

(委員) 3世代の運動会は、3地区でやっている市民運動会と変わりがなくなっている。見直し、問題意識、やればいいということだと変な事業になってしまうと思っている。各課が取り組まれているテーマを見直して、課題は何か、それを解決していったらもっと絞られたテーマができるのかなと感じます。

(議長) 事務局案もあります。今のご意見もあります。ここで結論を出すのは難しいと思います。テーマをどうするかを次の段階の時に伺いたいと思います。全員でやるのか、何人かで小委員会のような形でテーマを絞り込んでいくのか、その点について伺います。

(委員) 高齢化の人を対象にするのか、高齢化をつくらないようにするのか、スポーツ少年団では幼児からのスポーツということをやっています。幼児からスポーツをすることで高齢になってもスポーツを続けるという運動です。来年あたりからその活動をやっていこうと思っています。少子高齢化とはどういうことなのかということを考えてテーマを作っていきたいなと思っています。

(議長) できれば小委員会のような形で、何人かの方に方向性を示す役どころを引き受けていただいて、改めて皆様にアンケートでご意見を頂いて、集約したものを小委員会で決めさせていただいた上で、皆さんにお返しするという方向性でやっていきたいと思いますが、こういった進め方でいかがでしょうか。

皆様にご了承いただいたと思います。それでは、議長と委員3名の4人と事務局2人出させていただいて、今回は具体的な提言までできなくても見直すという形で進めてまいります。皆様には、アンケートに意見を書いて頂いた後、小委員会で検討してから会議を開きたいと思います。

## 6. 閉会